

# グリーンレター Green Letter

Green Column グリーンコラム

01 スキーを履いた飛行機

02 ヒグマとのつきあい方

Vol.316

2023/9/01



八重柏誠 《リニューアル大詰め》

## Photo 今月の1枚

開館当時から、更新作業をしていなかった埋蔵文化財展示コーナーをリニューアルしています。まずは展示台を階段状に変更、展示台の後ろの方に置いてあった石器を手前に移動し、とても見やすくなったと思います。9月は無料開館日も続けてありますので、見やすくなった資料をぜひご覧ください！（八重柏誠）



## 01 Green Column グリーンコラム

# スキーを履いた 飛行機

動画／美幌博物館所蔵・文／八重柏誠

**視**聴覚準備室に積み上げられた古いテープ。何か貴重な映像が含まれていないかと確認作業をしていると、昭和10年代に撮影された貴重な映像が見つかりました。映像には農作業や美幌峠観光の様子に加え、冬空を飛ぶ飛行機が含まれていました。

映像をコマ送りで確認してみると、主翼が2枚あります。複葉機と呼ばれる飛行機です。さらによく見ると羽の下に細長い板のようなものが2枚付いています。最初に想像したのがフロート（浮き）のついた水上飛行機でしたが、フロートには小さすぎる気がします。さらによく見てみると、後部の下にも何かが付いているようです。旧海軍基地に関係する飛行機かと思い、色々と調べてみましたが、どうも該当するものはありません。

この飛行機が何か、わからないまま数ヶ月経ったある日、女満別空港内に

飾られた模型飛行機が目にとまりました。女満別空港の始まりについて紹介したものです。流水と冷害の関連を調べるために、流水観測が必要だったこと。その観測のために飛行機が飛んでいたこと。根岸錦蔵という操縦士が流水観測をしていたこと。さらに詳しく調べると、飛行機が雪面に着陸できるように、スキーのような板が取り付けられていたことがわかりました。映像の飛行機は、3枚の板を取り付けた飛行機だったのです。流水観測に使われた飛行機はいくつかあり、見比べると13式艦上攻撃機を改造した海風号と呼ばれる飛行機によく似ていました。

この飛行機映像については、来年3月から始まる特別展で公開する予定です。空を舞うスキーを履いた飛行機の映像、楽しみにしてください。



## ヒグマとの つきあい方

写真・文／鬼丸和幸



**本**紙前号において、ヒグマの話  
題について、少しだけ触れさ  
せていただきました。その後も、ふだ  
ん昆虫調査・撮影で利用している場所  
が、ヒグマ出没で一定期間立ち入り禁  
止になったり、7月下旬の大雨で、林  
道が一部崩れ、車で入林できなかつた  
りして、不便な状況が続いた夏となり  
ました。

さて、業務の一環で野外の山林へ出  
かける機会も多いこともあり、ヒグマ  
に対する対処法について再度勉強して  
みました。ヒグマの会（事務局：酪農  
大学）が刊行している「ヒグマ・ノー  
ト」が、とても参考になりました。改  
めて、基本的なヒグマに対する対処の  
しかたを、忠実に守ることの必要性を  
感じました。

何と言っても、ヒグマに出会わない  
ことが一番！例えば、行動中は音を出  
す（鈴やラジオを鳴らしたり、手を叩

いたりする。ラジオも、人の声がしな  
いムード音楽よりも、人の声が流れて  
いる番組の方が良いと聞きました）、  
複数人で行動する（人が多いと、それ  
だけ話声や物音で、ヒグマがこちらの  
存在に気づきやすくなる。過去30年  
間、同行者と一緒にいる時の死亡事故  
は起きていないそうです）、周囲の様  
子の気を配る（五感をとぎすまし、変  
な動物臭（専門家の話だと、ヒグマの  
臭いは、何日も着込んだ汗だくのシャ  
ツのような臭いに似ているとのこと）  
がしたり、ヤブの中でガサガサ音がし  
たり、近づいたら引き返す)…などです。

北海道民として、ヒグマとの共存は  
避けられない事ですので、ご自身で基  
本的なヒグマとの付き合い方につい  
て、知る機会をつくってみてはいかが  
でしょうか（画像は、秋の美幌温水た  
め池内に残されたヒグマの足跡です）。

## Exhibition 展示

特別展「カメラは見た！動物たちの素顔」  
～10月22日（日）

ロビー展「すごい標本！すごい資料！」  
～10月9日（月・祝）



## Event イベント

持ち物等は申込時にご確認ください

### 博物館でお宝をさがせ！

9/1（金）～9/30（土）

美幌博物館・参加費は観覧料に準ずる

申込み／申込み不要

### プチ工房「型染めハガキ」

9/1（金）、2（土）10:00～12:00、14:00～16:00 自由入室で作品  
ができ次第終了

美幌博物館1階 講座室・300円

講師／早田真莉子（美幌博物館）

対象／どなたでも（小学3年生以下は保護者同伴）

申込み／申込み不要



### 美幌みどりの村ふれあいまつり 無料開館

9/10（日）

美幌博物館・無料

### 敬老の日 無料開館

9/18（月）

美幌博物館・無料

### 博物館講座（芸術編）

#### 「ヤングアダルトに読んで欲しい本を翻訳して一長友恵子の世界」

9/23（土）10:00～11:30

美幌博物館2階 視聴覚室

講師／長友恵子氏（英米児童文学翻訳家）

対象／中学生以上～一般（小学生以下は保護者同伴）

申込み／申込み不要、直接会場へ



### 開館記念日 無料開館

10/1（日）

美幌博物館・無料



## Tweet つぶやき

例年にない寝苦しい日が続きました。今はエアコンがあるおかげで、楽になりましたが、エアコンがなかった子供の頃は、冷えた感触のある鉄棒やフライパンなどを抱いて寝たり、ヒンヤリする台所や玄関前の床板の上で直寝したりして、よく親に怒られたものでした（鬼丸和幸）



美幌博物館 月刊情報誌 Green Letter

【発行】美幌博物館

【デザイン】城坂結実

【編集】八重柏誠

【お問合せ】美幌博物館

〒092-0002

北海道網走郡美幌町字美倉 253-4

Tel. 0152 (72) 2160

Fax. 0152 (72) 2162

